

第3分科会テーマ「これからの時代を見据えた公民館 とコミュニティセンターの在り方

【公民館活動と地域コミュニティ】

「文化祭のライブ配信」

にかほ市教育委員会仁賀保勤労青少年ホーム

副主幹 須藤 恵

1 はじめに

にかほ市は平成17年に旧仁賀保・金浦・象潟町が合併し誕生した。本市には、各地区に1つの公民館、計3館と、音楽ホール機能を有する「仁賀保勤労青少年ホーム」があり、舞台芸術、音楽、芸能文化振興について分掌している。

毎年、にかほ市では文化祭を開催している。例年10月に音楽・芸能の発表部門、文化の日を中心とした日程で展示部門を行っている。発表部門は市内唯一の音楽ホールである仁賀保勤労青少年ホームで音響等の専用設備を使用し実施している。

しかし、令和2年度(2020年)は新型コロナウイルスの感染により多くのイベント・行事が次々と中止となった。そこで、文化祭(発表部門を含む)の開催について各団体にアンケートを取った。その結果、「できる限りでの開催を望む」との声が多かった。

文化祭の発表部門は舞台芸術・文化の学習成果の披露の場であるとともに、地域文化の醸成に欠かせない事業であり、「演」と「観」により成立しその効果を発揮するものである。そこで、令和2年度の文化祭発表部門は、感染症拡大に最大限配慮しオンラインでの開催を計画した。また、これを機会に新たな発表、学習形態を獲得する機会とした。同時に、オンライン学習機会の獲得のため館内の整備を行った。

2 具体的な取り組み

【オンライン文化祭の実施】

令和2年10月30日(土)「にかほ市民文化祭 音楽祭」(1日目)

11月 1日(日)「にかほ市民文化祭 芸能祭」(2日目)

●開催館は無観客

●動画配信サイトによるライブ配信(にかほ市公式 YouTube チャンネル)

※文化祭広報へ URL および QR コードの掲載での周知

●3公民館で相互オンラインによる観覧の実施(web 会議システム使用)

※サテライト観覧会場と銘打ち、各会場の観覧状況が出演者にも見え、相互でやり取りができる仕組みとした。

◆相互のやり取りはweb会議システムを使用

◆観覧は動画配信サイトで上映

●出演方法

①ライブ出演

②収録出演

(当館での事前収録による出演)

③VTR 出演(演者作成 VTR)

出演	① ライブ 出演	② 収録 出演	③ VTR 出演
音楽祭	5	2	3
芸能祭	11	7	2

写真1

① ライブ出演



にかほ市民文化祭2020音楽・芸能祭11/1
2,665 回視聴・2020/11/02

(サテライト会場へ手を振る出演者。観覧会場の様子も会場で投影し見ることができる。)

写真2

②収録出演



にかほ市民文化祭2020音楽・芸能祭10/31
3,280 回視聴・2020/10/31 にライブ配信

(収録し、編集を加えライブ画面にインサートした。)

【オンライン学習に資する館内整備】

- 全館 Wi-Fi の敷設
- オンラインに必要な機器の整備

写真3

②VTR 出演



ジャングルキッズスポーツ少年団 mickey
にかほ市民文化祭2020音楽・芸能祭11/1
2,665 回視聴・2020/11/02

(自分たちで収録しデータの持ち込みにより出演できる。映像も独自で編集されている。)

3 活動等の成果

様々な行事、イベントが中止となる中、「演」側には新たな手法により学習成果の発表機会を得られた。「観」については、実際に会場に足を運ばない方も物理的困難を「オンライン」が克服し、芸術を楽しむ機会が拡大した。

また、オンライン文化祭の実施に際し、市内にある唯一の高等学校「秋田県立仁賀保高等学校」の情報メディア科より技術的支援をいただき、生徒にも参加してもらうことにより、若い世代の市の文化振興への興味を持ってもらうことができた。

4 今後の課題

- ① 学習者の IT 環境格差への対応
→当館を活用することによる克服を目指し、そのための環境整備を進めていく。
- ② 様々なツールの活用の長短所の取り込み方、動画配信サイト、web 会議システムなどの利点を生かした活用
→地域住民に向けて、基礎的な学習機会(講座)を開催する。(令和3年実施)
- ③ オンラインを介しての文化交流、世代間交流の必要性
→ニーズに応じた交流ができるよう、仁賀保高校との協力連携を強化する。